【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2000-159456(P2000-159456A)
【公開日】平成12年6月13日(2000.6.13)
【出願番号】特願平10-332359
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６６Ｂ　5/00
　Ｂ６６Ｂ　1/34
【ＦＩ】
　Ｂ６６Ｂ　5/00　F
　Ｂ６６Ｂ　1/34　C

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月27日(2004.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　エレベーター乗り場近辺に設けられエレベーターを制御する制御手段と、
　この制御手段の点検のために設けられた開閉部と、
　この開閉部の状態を検知する状態検知手段と、
　前記状態検知手段により前記開閉部の開状態を検知した場合に第１の警報を発生する警報手段と
　を備えたことを特徴とするエレベーター制御装置。
【請求項２】
　請求項１に記載のエレベーター制御装置において、前記状態検知手段により前記開閉部の開状態を検知してから前記第１の警報を発生するまで、及び閉状態を検知してから前記第１の警報を停止するまでに各々所定の遅延時間を与えるための遅延手段を備えたことを特徴とするエレベーター制御装置。
【請求項３】
　請求項１または請求項２に記載のエレベーター制御装置において、前記第１の警報の発生を禁止するための手段を備えたことを特徴とするエレベーター制御装置。
【請求項４】
　請求項３に記載のエレベーター制御装置において、前記第１の警報の発生を禁止する状態のまま、前記開閉部が閉状態になった場合に、第２の警報を発生する手段を備えたことを特徴とするエレベーター制御装置。
【請求項５】
　エレベーター乗り場近辺に設けられエレベーターを制御する制御手段と、
　この制御手段の点検のために設けられた開閉部と、
　この開閉部の状態を検知する状態検知手段と、
　前記状態検知手段により前記開閉部の開状態を検知したことによるエレベーター停止時には、故障報知を実行させない、または一定時間を経過するまで故障報知を実行させない手段と
　を備えたことを特徴とするエレベーター制御装置。
【請求項６】

エレベーター乗り場近辺に設けられエレベーターを制御する制御手段と、
この制御手段の点検のために設けられた開閉部と、
この開閉部の状態を検知する状態検知手段と、
前記状態検知手段による閉状態検知時には、かごまたは利用者との通話のために前記制御手段周辺に設けられた通信装置の呼び出し音を低減または消去させる呼び出し音低減または消去手段と
を備えたことを特徴とするエレベーター制御装置。

【請求項７】
請求項６に記載のエレベーター制御装置において、エレベーターが複数ある場合、開閉部が開状態であることを検知した状態検知手段に対応するすべての通信装置に対する前記呼び出し音低減または消去手段の動作を禁止させる手段を備えたことを特徴とするエレベーター制御装置。

【請求項８】
エレベーター乗り場近辺に設けられエレベーターを制御する第１の制御部と、
この第１の制御部から分離して他の場所に設けられた第２の制御部もしくは他の機器と、
前記第１の制御部の点検のために設けられた開閉部と、
この開閉部の状態を検知する状態検知手段と、
前記状態検知手段による開状態検知時には、前記第２の制御部もしくは他の機器の少なくとも一部の動作を禁止または解除する動作禁止または解除手段と
を備えたことを特徴とするエレベーター制御装置。

【請求項９】
請求項８に記載のエレベーター制御装置において、前記動作禁止または解除手段により前記第２の制御部もしくは他の機器の少なくとも一部の動作の禁止または解除を実施させるための信号を入力する信号入力手段を備えたことを特徴とするエレベーター制御装置。